

2022年1月20日

各 位

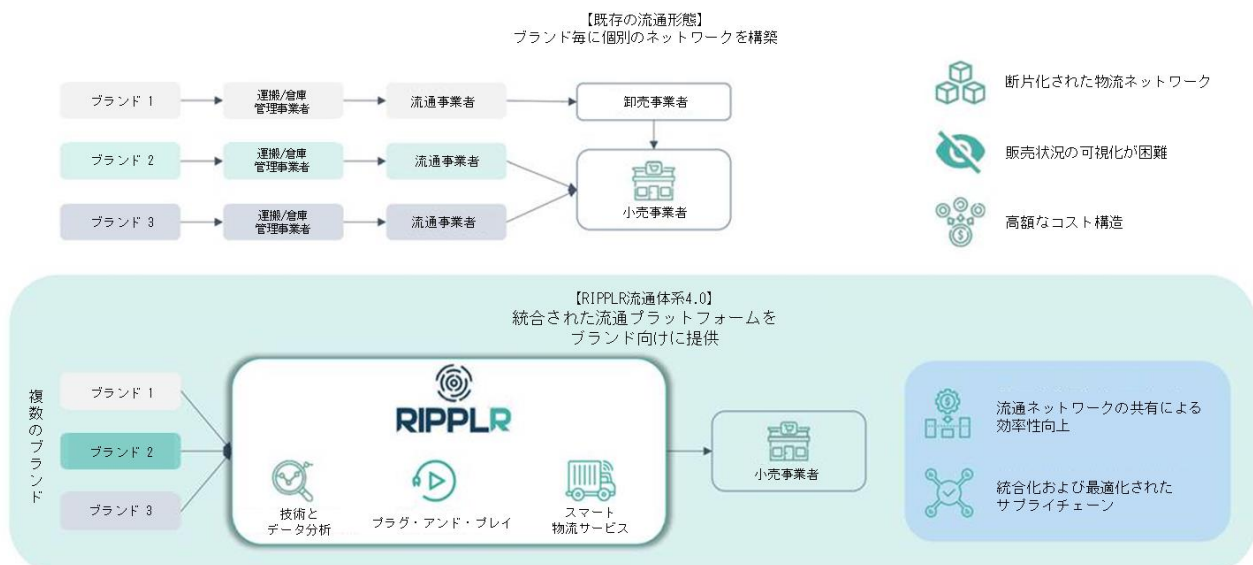
双日株式会社

双日、成長を続けるインド市場で消費財・食品の卸売事業に参入
～スタートアップ企業への出資を通じて、インド市場のリテール領域を強化～

双日株式会社（以下「双日」）は、このたび、インドのスタートアップ企業である
インテリジェント リテール プライベート リミテッド リップラー
Intelligent Retail Private Limited（以下「RIPPLR」）による第三者割当増資を引き
受け、成長を続けるインド市場で消費財・食品の卸売事業に参入しました。

インドの小売市場は、約14億人の人口をベースとした巨大な内需が期待されること
から、2025年までに世界第3位の規模(USD1,158bil)に成長すると見込まれており、
今後も消費者の購買意欲は高いレベルで推移していくと想定されます。一方で、広大
な国土面積のもと小売店舗数は1,400万を超え、多様な民族・言語・文化・制度が存
在し、既存流通業者の多くが個人経営であることから、流通構造の複雑さと非効率性
はインドの消費財・食品メーカーが抱える重大な課題の一つとなっています。

RIPPLRは、自社で開発したプラットフォーム上に受注管理・配送管理・販売実績
管理・在庫管理システムを構築したことで、小売業者（販売先）からの注文受付から配
送までのデジタル管理や、メーカー（仕入先）とリアルタイムに販売情報を共有し、タ
イムリーな販売・配送状況の把握を可能にしました。流通構造をシンプルにすること
で、正確に、速く、低コストで商品配送ができるため、現地消費財・食品メーカーや小
売業者から高い評価を得ています。



【既存の物流体系とRIPPLRの比較】

双日は、ベトナムにおいて2012年より現地消費財・食品卸売事業会社を連結子会社化し、新興国での卸売事業運営の知見を蓄積するとともに、多数の消費財・食品メーカーと取引し、関係構築してきました。双日の知見・ネットワークとRIPPLRのプラットフォームを掛け合わせることで、双日にとって新たな市場であるインドにおいても流通業界に貢献するとともに、将来的にはリテール分野における他事業の展開も目指します。

2021年4月から開始した「中期経営計画2023」において、双日は、「東南アジアやインドといった成長市場でのマーケットイン志向」を掲げ、マーケットの課題を解決する事業への取り組みを推進しています。本件を通じて、インドマーケットの課題解決に貢献するとともに、新たな事業領域での価値創造、企業価値向上を目指します。

(ご参考)

【RIPPLRの概要】

| | |
|-------------|--|
| 会社名 | Intelligent Retail Private Limited |
| 自社プラットフォーム名 | RIPPLR |
| 設立年 | 2019年 |
| 本社所在地 | Maithreyi # 1090/L, 3rd floor 18th cross, Sector 3, HSR Layout, Bengaluru, Karnataka |
| 代表者 | Santosh Sadashiv Dabke, Adhishek Vijay Nehru |
| 事業内容 | 卸売プラットフォームの運営 |
| 従業員数 | 312人(2022年1月時点) |

【本件に関する問い合わせ】

双日株式会社 広報部 03-6871-3404